



作者の言葉
我が百合丘ロータリークラブのシンボルである百合の花は、地味に白く、上品な花言葉は「純潔」である。この花は、多岐にわたることに思われ、決して「完璧」に思われず、むしろ「不完全」に思われ、それがこの花の美しさである。そして、この花は、決して「完璧」に思われず、むしろ「不完全」に思われ、それがこの花の美しさである。そして、この花は、決して「完璧」に思われず、むしろ「不完全」に思われ、それがこの花の美しさである。

昭和五十五年春吉日
大友 大

2017~2018年度

Weekly Report

平成30年4月24日(火) ■ 会長：中村 和広 ■ 幹事：安藤美恵子 ■ 会報：古澤 利夫
例 会 日 毎週火曜日 12:30~13:30
第1906回例会 例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ <http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第1906回例会記録 平成30年4月24日(火) 41/49回

<点鐘>

中村会長

<出席委員会>

白井委員長

<ソング> 四つのテスト

<会長報告>

中村会長

- 2016-17年度年次報告書・2017-18年度地区大会の記録が届いておりますのでご確認下さい。
- 平成30年度川崎市文化賞等候補者の推薦についての依頼が来ております。
- 第4回川崎・しんゆり芸術祭2018(アルテリッカしんゆり) 実行委員会資料が届いております。

<幹事報告>

安藤美恵子幹事

- *近隣クラブ例会変更・案内
川崎麻生RC、川崎とどろきRC、川崎中RC

<ニコニコ委員会>

金子委員長

中村会長→「地区研修・協議会の報告、よろしくお願致します」。安藤美恵子幹事→「中島眞一会員に御協力を頂き明日までオーパの1階において川崎洋蘭クラブの春の蘭展を行っています。お時間のある方は、是非お立ち寄り下さい」。以下、感謝をこめてニコニコへ。安藤亨会員、福家会員、平岡会員、井上久会員、井上勇会員、鴨志田会員、勝田会員、北島会員、小林会員、小島会員、小塚会員、中島健児会員、中島眞一会員、大矢会員、親松会員、尾崎会員、嶋会員、白井会員、鈴木文夫会員、鈴木清会員、玉井会員、結城会員、金子会員。

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1906回	44	28	16		63.64%
第1905回	44	32	12	7	88.64%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	25件	25,000円	1,056件	1,175,258円
財団	0件	0円	20件	256,000円
ベネファクター	0件	0円	1件	114,000円
米山	0件	0円	37件	510,000円

本日のプログラム

<地区協報告>

幹事

次年度嶋幹事

RIテーマと地区方針について千田地区幹事よりお話がありました。RIテーマは「インスピレーションになろう」で課題に立ち向かう意欲を引き出し、みんなを鼓舞し、みんなの励みになろうという意味です。地区方針は①魅力あるロータリークラブ創りに向けて変革に取り組む。②研修の拡充と各会合や事業への積極参加。③会員増強とクラブ拡大。④公共イメージと認知度の向上。⑤ロータリー財団に対する理解と寄付のお願い。⑥ロータリー米山記念奨学事業への理解と寄付



- 第1908回 5月15日 クラブフォーラム
- 第1909回 5月25日 友好クラブ歓迎例会(台湾永和RC)
- 第1910回 5月26日 川崎百合丘RC創立40周年記念例会

のお願い。⑦ロータリークラブ対象のロータリー賞に挑戦。の以上7つです。

地区についてはグループや委員会の統合、再編がありました。また米山については大友第3グループガバナー補佐より、R財団とRLIについては鈴木地区副幹事よりお話がありました。また樋口拡大増強委員長より会員増強についてのHow Toについて、また幹事の役割と戦略計画について倉知幹事部門リーダーよりお話がありました。

クラブ奉仕委員会

次年度大西委員長

私はクラブ奉仕委員会に属する者として、クラブ管理運営部門に参加しました。主たるテーマは、クラブ管理基盤の充実と活性化、会員増強のためのHow To、広報・公共イメージの向上というもので



ありましたが、その中で鷺沼RCのクラブ奉仕委員長石塚勝氏のロータリーの起源・歴史・変遷・精神等をまとめたお話が非常に印象に残りました。

とりわけ、ロータリーの「四つのテスト」についての解説に感銘を受けました。そもそも「四つのテスト」とは企業家でありロータリアンのハーバードテラーが考え、実践した取引における企業理念であったところ、その版權を全ロータリアンの職業奉仕の指針にということで、1954年にRIに寄贈したとのことであります。

人は一人では生きられません。仕事をしてゆく上で、交友関係において、家族として、四つのテストの実践こそ、良き人生を全うする、そしてクラブの管理基盤の充実と活性化の鍵であると感じた次第でした。

職業奉仕委員会

次年度平岡委員長

入会して1年ほどでまだ地区大会というものがどのようなかわからないまま参加して参りました。全体の会議を通じてガバナーや色々な方のお話を聞き感じたのが会員の減少がロータリークラブにとって大きい問題なのだということです。新しい血を入れていかないと衰退するというのはどの組織でも同じ事だと思います。私もできる限り貢献していきたいと感じました。



また、この会議は学校で行われたので久しぶりに学食のカレーを食べ懐かしい味に浸ることができました。分科会では大先輩である渡邊会員と鴨志田会員と一緒に話を聞きました。井上久次年度会長が仰るように親睦と地域の職業奉仕ということをテーマとして活動していきたいです。また今日、安藤亨会員にもどうということが職

業奉仕なのかということについて深くお話を聞き身が引き締まりました。

青少年奉仕委員会

次年度井上勇委員長

青少年奉仕委員会は皆様ご存知のようにインターアクト委員会、ローターアクト委員会、ロータリー青少年交換委員会、RYLA委員会の4つから成り立っています。まず青少年奉仕委員会の委員長より



お話がありました。市川委員長は危機管理委員長も拝命されております。昨年10月に危機管理委員会規程が作られてまして施行されました。青少年交換留学生に対して好ましくない事態の全てに対応するということです。具体的には交通災害、自然災害、ハラスメントなどです。これらの事態の発生を防止するとともに発生した場合の適切な対応をするのに必要な業務を行うということです。

また8月にエクアドルの男性が交換留学生として来日予定です。次年度は当クラブがホストクラブとなりますのでロータリー青少年交換委員会とのつながりが深くなると思います。ホストクラブは学校の件やお金の件、危機管理、ホストファミリーの手配など全ての業務を行います。皆様の御協力をお願いしたいと思います。

社会奉仕委員会

次年度鴨志田委員長

川崎大師RCの鈴木次年度地区社会奉仕委員長よりRI第2590地区2017-18年度クラブ社会奉仕事業アンケート57クラブのまとめについてお話がありました。まず総事業数は209件。そのうち人道的福祉活動



が72件でした。また文化的スポーツ的活動が33件。社会的活動が104件。新規事業が30件というのがあまりに少ないのではないかとのことです。継続事業が179件と85.6%を占めております。継続事業は10年以上続いているものが91件あります。広報活動については47件でした。当クラブでは昨年昭和音大にバザーの商品を提供しその売上げをポリオに寄付しました。このような事業をタウン誌等に取り上げてもらうとよいかと思いました。今年度は地元の施設に寄付することも考えております。また近隣のクラブと一緒に社会奉仕事業を行うこともよいかと思いました。

いいプログラムは継続し、新しいプログラムを企画することも大切なので、何かよい案がありましたら是非提案してください。

<点鐘>

中村会長